

KADOMA ROTARY

Club Weekly Bulletin



門真ロータリークラブ

事務所 〒570-0038 守口市河原町 10-5 ホテル・アゴーラ大阪守口 5F
TEL 06-6993-0107 FAX 06-6993-0108 E-mail office-kadoma@silk.plala.or.jp
例会 毎週木曜日 12時30分 於 ホテル・アゴーラ大阪守口
会長 大倉 基文 幹事 下田 一彦 会報広報委員長 滝井 稔元 創立 1969年4月17日



2024-25年度 RI テーマ
「ロータリーのマジック」
RI 会長 ステファニー A.アーチック



10 A P R I L 2025 No. 2548

2025年4月3日 例会報告
第2547回 例会

次回例会 4月17日 (木)
卓話「春の星空散歩」西川 亮彦 会員

□ ゲスト

NPO 法人 トイボックス 実島 直美 様

□ 出席報告

会 員 数 (出席免除会員1名含) 21名
名 誉 会 員 4名
本 日 の 出 席 (出席免除会員1名含) 14名
〔出席内訳：会場出席13名・オンライン出席1名〕
欠 席 7名
出 席 率 66.66%
3 月 6 日 の 出 席 (出席免除会員含まず) 11名
メーキャップ後結果 16名
出 席 率 80.00%

□ 誕生日祝い

末田 正 会員 吉田 逸郎 会員

□ 結婚記念日ご紹介

興津 成実 会員 滝川 博嗣 会員
土居 弘和 会員 前元 喜邦 会員

□ ニュニコ箱

西川 亮彦 会員 親睦委員会の皆様お疲れ様でした
吉田 逸郎 会員 ロータリー財団(年次寄付)へ
" " (恒久基金)へ
" 卓話のできる喜びに

□ 副会長挨拶

濱中副会長

皆さん、こんにちは。
今日はルミエールよりトイボックスの実島さんが来ておられます。ありがとうございます。また、大田会員がリモートでハワイから出席されています。宜しくお願いします。



今日は、会長、幹事がお休みという、緊急事態ですが、私で宜しくお願いいたします。

実は今日は朝から砂子の桜を見に行かせて頂いておりました。というのも、芸人のシャンパーハットさんが取材に来られ、その船に乗る美しい女人を募集していることで、敢えて選ばれましたので、市長ともども記念撮影などもさせて頂きました。4月23日に放映されるということですのでお時間があれば見て頂きたいと思えます。

そして個人的な事ですが、昨日4月2日3時25分待望の孫が生まれました。ありがとうございます。男の子でございました。濱中一晟と息子が付けました。私は大晟君がいいと思ったのですが却下されました。一晟君、馴染んでいくと思います。

4月生まれと言う事で少し調べてみました。日本には旧暦と呼ばれる暦があります。旧暦では、和風の名で呼ぶことを意味する、和風名月を使用していました。どことなく雅なイメージのある四字熟語に見えますね。この和風名月が誕生したのは、旧暦にある季節にあわせたことがきっかけとなりました。

皆さん、ご存じだと思いますが、1月はむつき(睦月)、2月はきさらぎ(如月)、3月はやよい(弥生)、4月はうづき(卯月)と、呼ばれています。今の暦と旧暦では季節感にズレがあります。今の暦で言うところの4月下旬から6月上旬ごろになります。

4月の卯の花が咲く季節であるため、卯月と呼ばれるようになったという一番有力な説です。自然と密接に暮らしていた時代です。その為、卯の花が咲き誇る4月を卯月と呼びたくなったのでしょう。

脱線しますが、豆腐を作るときに出てくる「おから」は、卯の花に見た目が似ているので、卯の花と呼ぶようになりました。

また、十二支の中で4番目の干支であるため、4月を卯月とよぶようになったという説がありますが、和風月名に登場していないところを見ると、この十二支の説は間違いであるといわれています。

4月になると稲を植える地域が多くなります。田植えの時期から転じて、4月を種の月(うづき)、植月(うえつき)とも呼んでいます。和風月名のひとつで、種月や植月が転じて卯月になったという説もあります。

日本では4月というと新学期や新生活など、新しい何かが始まる季節です。その為、「初産(ういざん)」や「産まれる」「生まれる」などから、卯月と呼ばれるようになったという説も残っています。

他にも雅な呼び方がある4月は、木葉採月(このはとりつき)、蚕のえさとなる桑の葉が採れる時期なので花残月(はなのこりづき)、北日本地域ではまだ桜が見ごろの時期なので、日本には季節に伴い、風流な言葉がたくさんあります。大切にしていきたい言葉です。ありがとうございました。

□ 幹事報告 代理 玄野 SAA

1. 次年度プログラム変更(再度お知らせ)

3月度理事会で決定した次年度年間プログラムでは、第1回ガバナー補佐訪問日は8/21でしたが8/28に変更となりました。変更版はHPをご確認下さい。

2. 今後の予定

4/3 例会後 4月度理事会

4/5 [地区行事]次年度のための地区研修・協議会

4/10 クラブフォーラム：社会奉仕部門

4/17 卓話：西川会員

□ 卓話「東和薬品の状況と

新規市場・新規事業の取組み」

吉田 逸郎 会員

ジェネリック医薬品は国の使用促進策により、2024年第2四半期での数量シェアは84.7%(GE薬協調べ)に達し、後発品の置換



えによる年間医療費適正効果額(年間推計)は1.3兆円となりました。

しかしながら、昨今のジェネリック医薬品業界の品質や安定供給の問題で、関係者の皆様にご心配をおかけしております。

昨年5月の「後発医薬品の安定供給等の実現に向けた産業構造のあり方に関する検討会 報告書」では、後発医薬品産業のあるべき姿が示され、さらに6月の「経済財政運営と改革の基本方針2024」(骨太方針2024)では、「足下の医薬品の供給不安解消に取り組むとともに、医薬品の安定的な供給を基本としつつ、後発医薬品業界の理想的な姿を見据え、業界再編も視野に入れた構造改革を促進し、安定供給に係る法的枠組みを整備する」という記載がなされました。

当社としても、ジェネリック医薬品が重要な社会インフラとなった今、品質の確保や安定供給体制の構築は社会的責任だと考えております。

当社では医薬品の安定供給に向けて、2023年11月に建設工事が完了した山形工場第三固形製剤棟、第二無菌製剤棟で全面的な生産ができるよう設備導入等を進めております。今年中に175億円の生産体制を構築できる予定です。それでも現在の医薬品の供給状況の問題を改善していくためには、さらなる生産の効率化を行うことが必要です。山形工場第三固形製剤棟では包装資材の自動供給対応を進めており、8時間の自動化が可能となりました。

今後、業界全体として安定供給責任を果たすためには、有事の際にも安定供給できるよう複数の生産拠点で製造できるバックアップ体制も含めた持続可能なサプライチェーンの構築が必要だと考えております。自社グループ内だけでなく、長期的にはアライアンスによるバックアップ体制により堅牢な生産体制の構築に努めてまいります。

一方、当社では第6期中期経営計画に基づき、新たな健康関連事業、海外医薬品事業の展開も進めております。

新たな健康関連事業においては、2024年6月から当社を代表事業者とする共同事業体で、門真市と「門真市スマートシティ推進事業」に関する業務委託契約を締結し、活動を開始しました。

本事業は、内閣官房・デジタル庁が推進するデジタル田園都市国家構想の実現に向けた取り組みです。門真市が地域課題の1つとして抱える市民の健康課題(各種検診受診率や健康意識の向上)の解決に向け、個人の健康に関する医療情報・データの記録、クラウドなどを通じてスマートフォンアプリ等で一元的に管理するPHR(パーソナルヘルスレコード)の地域実装を行うことで、市民自らの健康・医療・介護等情報の管理を通し

て、日常生活の改善などのセルフケアの実現や健康寿命の延伸を目指します。

海外においては過去に卓話でもお話した通り、モンゴルでの甘草栽培事業を進めています。

モンゴルでは国土の砂漠化、気候変動が大きな課題となっており、本事業はSDGsの観点からも、甘草という無限の緑の資源を活用することで砂漠化の防止につなげたいと考えております。また、地域経済を活性化し、甘草製品を地産地消できるようにしていきたいと考えております。

2017年6月30日にオークション形式で取得したヘルレン郡の土地で、2024年度は前年に続きヘルレン郡の地域住民に甘草の育苗を依頼し、ビニールハウス温室で育苗した苗とともに土地の一部に移植し、栽培したところ、生育率は約82%でした。種の直播栽培も検討したところ、発芽率は約30%と少し低い結果となりました。2023年に栽培した甘草の生育状況を調査したところ、目標のグリチルリチン含量(2.0%以上)に対して平均0.81%と、栽培開始後1年としては高く、今後の含量増加に期待しています。土地の一部(20ha分)で牧草・緑肥を栽培、収穫、販売もしております。その他、当該土地の防風林の維持管理を行いました。2024年1月には栽培した牧草を寄付したことにより、ヘルレン郡長より感謝状が授与されました。2024年12月にも街路樹寄付の感謝状をヘルレン郡長から授与されております。

2025年度は①再度地域住民に育苗を依頼し、土地へ移植、②土地の査察対応、③手動式の播種機を用いての1haでの直播栽培、④牧草の栽培、刈り取り、⑤散水システムの立案、⑥肥料及び土壌改良剤の検討、⑦2026年から5年間の栽培事業計画の確定をする予定です。

今後も甘草の本格栽培・販売を目指して、モンゴルでの取り組みを進めます。

□ 理事会報告 濱中副会長

1. 職場見学&春季家族親睦会 収支報告
宇治親睦委員長よりの実施報告書を受け、承認された。支出については、33,620円の不足分を親睦委員会活動費より充当することになった。

【考察&反省】①現地集合・解散はスムーズにいった。②内容は子ども向けであったので見学時間が短縮されても良かった。③季節が不安定なので企画に注意が必要と思われる。④クルーズ船は喜ばれた。⑤ハーフビュッフェにすることで予算は抑えられた。(報告書より)

2. 次年度に関して

①委員会の統合または兼務について

社会奉仕委員会&青少年奉仕委員会を次年度より、社会奉仕・青少年奉仕委員会と名称し、活動を一体化

するかどうか審議され、内容は各委員会の内容を活動とし、委員長一人にすることが承認された。

②門真市「部活動地域移行応援企業登録制度」について
門真市内の学校が担ってきた部活動の指導を、地域のクラブや団体などに移行する取組み。その取組みに登録することを確認された。

③RI2660 地区交流サイト「TOMOGAKI」について
当クラブには同好会が無いため登録しないことに決定した。

3. その他

①米山奨学生学友会(関西)40周年記念式典及び総会の出席について

次年度委員長が出席、会費はクラブ会計より支出することで承認された。

②5/22 夕刻移動例会の参加費徴収額について
例会昼食充当分¥3,000に会費¥2,000を集めての移動例会とすることが確認された。

③「SDGs キッズフェス in KADOMA」について
多文化共生推進協議会の実島さんより、子ども達がSDGsを体験し学べるワークショップをたく、一緒に協力して欲しいと要請があった。

④姉妹クラブとの交流に関して

- ・南波ロータリークラブの大会が6月に花蓮で開催予定。日程は未定。
- ・グローバル補助金申請中。ご協力依頼。
- ・9月の万博交流会に来訪下さいと連絡済み。

以上

*** 例会スナップ ***

